

にぎわいの原石を磨き上げる

多くの人でにぎわっていた時代を経て、まちなかの店や行き交う人の姿は随分少なくなりました。要因は人口減少ですが、ひと息に人口を増やすことはできません。そこでまずは、通勤通学・観光などで多久市を訪れる「交流人口」の増加に向けて取り組みます。

そもそも、多久市には素晴らしい観光資源や市民活動が多々あり、これらはまさに「にぎわいの原石」です。磨き上げ、適切な広報活動ができれば、おのずと多久市の魅力は広まっていくでしょう。タイアップイベントなどを企画し、市内全域はもとより市外のみなさんへ向けても、しっかりとPRしていきます。

新たな出店のための補助制度を準備し、多久市で起業する人を積極的に支援します。企業誘致もさらに推進し、より多くの働く場所を市内に用意することと、若い世代が選ぶまちへと育てます。

子育て世帯への支援も欠かせません。新入学生には文具や帽子などの必要な学用品を支援できるよう

進めています。そのほか

子どもの医療費助成など、子育て世帯に「子どもを育てるなら多久市」と選んでもらえるよう工夫を重ねていきます。

さらに、昨年は新たに公立佐賀中央病院が誕生し、旧市立病院と比べて診療科目も増えました。市民のみなさんの健やかな暮らしに欠かせない基盤である医療・福祉は、今まで以上に盤石に整えていきます。

前向きな変革を、共に

これまでも自分の足で市内を回り、多くの市民のみなさんご意見を伺ってきました。市長となったこれからも、広聴の機会は必ず持ちたいと強く思っています。

輝かしい多久市の未来を創る原動力は、今を生きている私たちにほかなりません。今年も市民のみなさんとより近い距離感で、困難なことも、楽しみな変革も、共に取り組んでいきたいと考えています。

新しい1年が市民のみなさんにとって実り多いものになるよう、全力で市政運営に励みます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

かつき まさのり
多久市長 香月 正則

昭和47年7月20日生まれ。高校卒業後、市内の民間企業で勤務。平成23年4月に多久市議会議員に初当選し、その後4期連続当選を果たす。令和7年9月17日に第9代多久市長に就任。以来、より良い多久市の実現に向け、日々奮闘している。